

# 「元気いっぱい・笑顔いっぱい」

特別支援教育統括コーディネーター 加賀谷 勝

## 「出会いを楽しく演出しよう」

4月は子どもの不安や緊張を和らげ、学級の中で自分の存在感や所属感をもたせることが大切です。楽しい雰囲気の中で自分のことを紹介したり、仲間のよさに触れ合ったりする活動に取り組むことで、親近感や一体感をもてるようにします。また、担任も自分の好きなことや小さい頃の失敗談等を自己開示することで、子どもとの心の距離がぐーんと近くなります。

### 「素敵な出会いにするためのアイスブレイク」

#### 1 よろしくね！（名刺を互いに交換する）

- ①交換する際は、笑顔で「よろしくお願ひします」の言葉を添える。
- ②名刺を交換して、どんな気持ちになったかを発表する。

「〇〇 〇〇」です。  
よろしくね！

#### 2 私は誰でしょう（自分のことをなぞなぞにして当ててもらおう）

- ①シートに自分の得意なこと、自分のいいところ、自分徴等、3つのヒントを記入する。
- ②先生が1枚ずつシートを読み上げて、みんなで誰なのかを当てる。やってみてどうだったか、感想を発表する。

私は誰でしょう？  
ヒント①  
\_\_\_\_\_  
ヒント②  
\_\_\_\_\_  
ヒント③  
\_\_\_\_\_  
自分の名前（ ）

#### 3 あなたとわたしはピットンコ（自分と似ている友達を見付ける）

- ①事前にテーマごとに自分の答えを記入する。（例：生まれた月、好きな色・遊び・テレビ番組・スポーツ・食べ物、趣味、血液型等）
- ②始めに先生が「生まれた月が同じ人」と言ったら、同じ仲間同士で集まる。
- ③仲間が集まったら、互いに感想を伝え合う。（〇月生まれが4人もいた、□□さんと同じ月でうれしかった等） ※テーマごとに繰り返す。

#### 4 バースデーリング（言葉を使わずに誕生日順に並ぶ）

- ①1月1日から12月31日までの誕生日順に1つの大きな輪に並ぶ。
- ②一言もしゃべらずに、ジェスチャーだけで順番に並び、最後に順番に聞いていく。



#### 5 セブンイレブンじゃんけん（2人の指の本数を「7」または「11」に合わせる）

- ①ペアになり握手をしてから、2人の指の数が合わせて「7」になるようにじゃんけんをする。「7」になったらハイタッチをする。指の出し方は0～5まで。
- ②両手を使って、2人の指の数が合わせて「11」になるように行う。ペアを変えたり、人数を3人、4人と増やしたりする。

#### 6 ペンでアップダウン（ペアでペンを支え合い、息を合わせて落とさないようにする）

- ①ペアになり、右手の人差し指でペンを支え、その場で立ったりしゃがんだりする。
- ②左手の人差し指→ペンを2本にして両手→目をつぶって行うなどレベルを上げていく。

「あの子がいないと悲しい、あの子がいないと困る、あの子がいないとつまらない、どの子もいるからうれしい、どの子もいるから助かる、どの子もいるから楽しい」、そう思える学級をつくりましょう。



とれたて直送便



### 「ニコニコ笑顔の大人は、最強の指導者！」

ルールは気持ちをコントロールすることを学ぶ道具であるが、ルールで縛ったり、強く言い聞かせたりするのは、子どもを早く変えたいという気持ちの表れである。子どもはルールよりもラポールに従う。子どもは「自分が認めた大人」や「自分のことを分かってくれる大人」の言うことを聞く。最も早く信頼関係を築く方法は、笑顔を見せることである。